

# エピソード61 応援

市内体育祭。競技に出る子への応援は、時間がたつほどに盛り上がっていきました。特に5年生は、先輩を応援しようと、ずっと大きな声を出していました。

走り高跳びでは、扇小の子が最後の2人まで残りました。当然、懸命な応援はピークに達するほどです。しかし、最後の一人には残れず、悔しい結果となりました。

最後の一人に残ったのは、他の学校の子です。扇の応援団は、この最後に残った子にも、大きな熱い応援を続けました。スポーツ精神あふれる、素敵場面だと、感動しました。